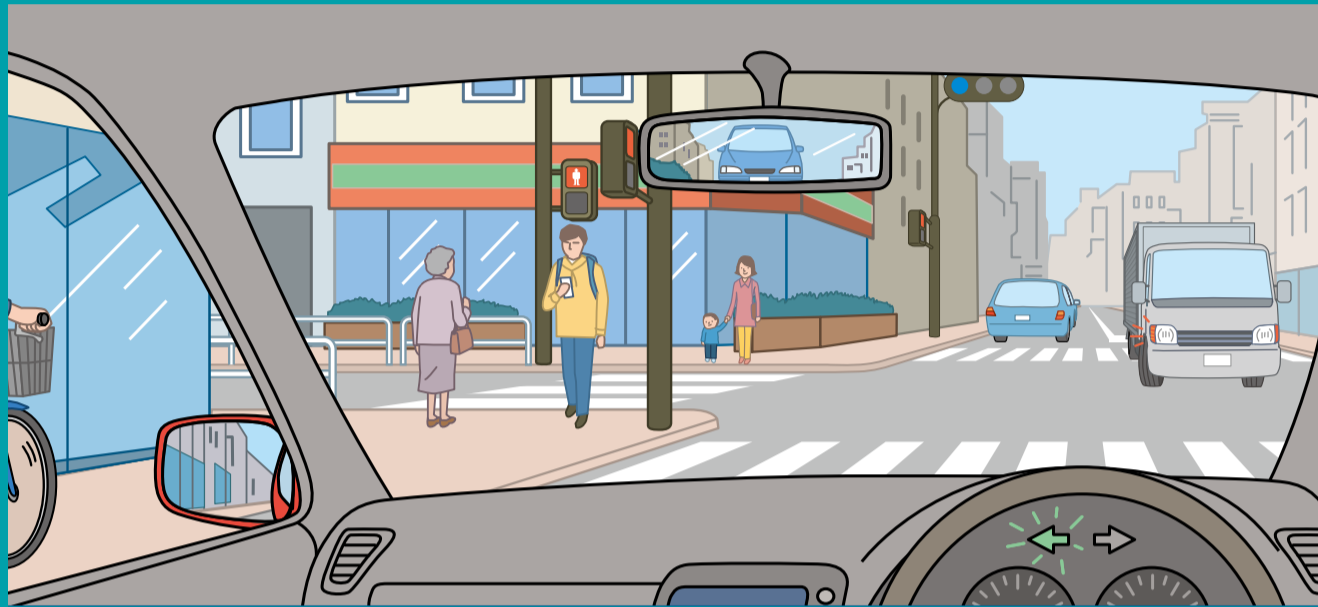


KYT 危険予測トレーニング

第77回 歩行者用信号機が赤になった交差点を左折する時 (四輪車編)

あなたは交差点を左折するところです。
横断歩道は赤信号に変わり、歩行者もいないので、
左折を始めようとしています。
安全に走行するためには、どのようなことを予測する必要がありますか？



交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、交差点を左折する時の危険について考えてもらうためのKYTです。

活用方法

1. 少人数のグループをつくります。
2. 「交通場面のイラスト」を見ながら、意見を出し合います。
3. その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつければ良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト (カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード (無料) できます。

【使用上の注意】

ホンダ SJ 検索

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業 (株) 安全運転普及本部

TEL : 03 (5412) 1736 E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

© 本田技研工業 (株)

SJ クイズ ?

自転車・四輪車編

Q1

2019年の自転車 (第1・2 当事者※1) の交通事故件数を相手当事者別にみると、最も多い相手は自動車ですが、その割合は何%でしょう？

※1 第1 当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。第2 当事者は過失がより軽い、過失が同程度の場合は被害がより大きいほうの当事者。

- ①約 60% ②約 70% ③約 80%

Q2

2019年の左折時の交通事故件数のうち、自転車側 (第1・2 当事者) に人的要因があったのは6,067件ありました。この中で最も多い人的要因は次のうちどれでしょう？

- ①動静不注視※2 ②安全不確認 ③前方不注意

※2 相手の存在を発見していたが、危険はないと判断し、その動静の注視を怠ったこと。

Q3

左折時の交通事故の人的要因における「動静不注視」のうち、自転車側が「相手が譲ってくれると思った」割合は何%でしょう？

- ①約 40% ②約 50% ③約 60%



「解答」はP7下、「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。
<https://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

Safety Info.

インフォメーション②

安全運転普及活動 メディア取材会 開催

昨年9月30日、Honda 青山ビル (東京都港区) にて「安全運転普及活動 メディア取材会」が開催され、新聞社やテレビ局など報道関係者が参加した。

初めに、竹内弘平 本田技研工業 (株) 専務取締役安全運転普及本部長が、Honda が安全運転普及活動に取り組んだ背景、半世紀にわたって継続してきた意義を説明。「既に日本を含む41の国と地域で安全運転普及活動を展開しています。この50年で培った国内外の交通安全のノウハウを世界の共有財産として、すべての交通参加者に安全・安心で自由な移動の喜びを最大化できる社会の実現に向けて活動を継続、進化させ

てまいります」と述べた。

続いて、鈴木英樹 本田技研工業 (株) 安全運転普及本部事務局長が活動の3つの柱となっている「人づくり」「場づくり」「ソフトウェアの開発」それぞれの具体的な取り組みについて紹介。「事故ゼロ社会の実現に向けて、時代に先駆けた交通安全教育の手法や機器の研究・開発に引き続き取り組んでまいります」と今後の展望を語った。会場にはHonda ライディングシミュレーターやHonda 自転車シミュレーター、リハビリテーション向け運転能力評価サポートソフトなど教育機器も展示され、多くの報道関係者が各機器を体験した。



竹内弘平 本田技研工業 (株) 専務取締役安全運転普及本部長



取材会では参加した報道関係者がHondaの様々な教育機器を体験